

こどもの未来を最優先！



林 さえこの 柏市議会 Report

No. 41

発行:2025.10.15

柏市議会議員
林 さえこ

お問い合わせ:

林 さえこ事務所&

市民ネットワーク・かしわ

〈事務局:水・金10:00~14:00〉

〒277-0863 柏市豊四季 631-16

TEL:080-7628-7737

プロフィール
SNSは
こちらから



9/17(水) 2025年第3回定例会 林 さえこ一般質問項目

- 気候変動への適応
- 命を守るための広報
- サークラーエコノミーの推進
- 保育園の再整備検討
- 市民プールをなくさないで
- こども議会やってみよう
- 製品プラスチックのリサイクル
- 公園遊具の管理と更新
- 自由進度学習を広げよう
- “理想” じゃない過大規模校
- 補助金・助成金の正当性

定例会が9月5日(金)から
10月2日(木)まで行われました。
本会議の録画は柏市のHPで見
ることができます。



※「一般質問」は市の事務の執行状況の
報告や計画について市長や担当部長に質
疑し、市民のための適切な市政運営を進め
ているかを議員がチェックするものです。

にんしん SOS

悲しい報道

予期せぬ妊娠を誰にも相談できないまま一人で出産し、生後間もない乳児を死亡させてしまう事件が後を絶ちません。いるはずの父親は多くが責任を逃れ、罪に問われるのは母親ですが、幼く性に関する正しい知識が欠如したまま、時には軽度の知的障害がある中で性的搾取をされていた女性や、DV・虐待を受けた経験があるなど複雑な家庭環境の女性も多く、母親もまた社会の被害者です。

相談さえしてくれれば

昨年の10月から、“にんしん SOS かしわ” が開始されました。支援の必要性が高く、頼れる人がいない妊産婦の相談窓口で、柏市が妊産婦等生活援助事業として一般社団法人ゆりかごに委託しています。安心して過ごせる宿泊可能な居場所が用意され、出産前から母子をしっかりサポートできる体制です。もし今、悩んでいる女性がいるのなら、どうかここに連絡してほしいと切に願います。

一般社団法人ゆりかごの運営する“ゆりかごる〜む”



出典: 柏市こども相談センター提供

あなたに届けたい

事業の広報は公式サイトやチラシ、ステッカーで行っているようですが、始まったばかりということもあり、まだ広く認知されていません。“にんしん SOS” は、妊娠に悩む女性に利用された時に初めて、その真価を発揮します。まず、必要な人に情報を届けなければいけません。

誰にも悟られずに見ることのできる、女性用トイレの個室ドアの内側の広告は効果的ではないかと考えましたが、商業施設や駅などの事業者から協力を得るのも簡単ではないようです。

広報の優先度

この事業に限らず、様々な事業がバラバラに広報されている現状では、どんなに重要な情報も、必要な人に届かなかったり、埋もれてしまったりします。人の命に関わる重要な情報については、効果的に伝えるための広報を市が一括してマネジメントし、優先して実施してほしいと要望しました。

年齢層や性別、地域を限定して表示できる web 広告や、検索履歴などを元に表示される“パーソナライズド広告”なども活用し、命に関わる事業の広報に力を入れてほしいと考えます。

にんしん SOS かしわ

匿名 OK!

☎ 070-5364-9627 (月~土 9:00~21:00)

✉ ninshinsos-kashiwa@yurikago.life



LINE

柏市妊産婦等生活援助事業運営委託事業所 一般社団法人ゆりかご

自由な学びを考える

先進的な取り組み

全国の学校で今、自由進度学習が広がっています。子どもが内容や進め方を主体的に決め、自分のペースで学ぶ学習法です。富勢東小学校が昨年から試行的に行っている自由進度学習を、2回、見学させていただきました。

6年生の社会科では三権分立について学んでいました。子どもたちは集中してスライドを作ったり、本を読み返していたり、発表の練習をしたりと、自分のペースで学んでいる様子が見られました。子どもが自分で調べるための環境づくりとして、本や資料がたくさん準備されていたことも印象的でした。

一斉授業で聞くだけではさらっと流れてしまいがちな難しい内容も、自分でテーマを決めて調べ、伝え方を考えた子どもには、大人になっても忘れない知識として定着するのではないのでしょうか。



「釣った魚の長さを比べてみよう」
「好きな物の長さを測ろう」など、
各々のペースで楽しく課題をこなしている。



「裁判所」「選挙」「憲法」など
それぞれが選んだテーマで調べ、
発表資料を作っている。



他校の学校図書館や市立図書館
から、テーマに沿った本や新聞
が集められていた。

教える経験

低学年の異年齢交流で行われた算数は、保護者参観の日に見に行きました。子どもたちは教室の中の様々な物の長さを自分で測り、他の物と比べたり、ゲームをしたりしながら、自分のペースで「長さ」を学んでいました。床に座ってお父さんに教えてもらったり、友達と比べていたり、自由な学びを絵に描いたような教室でした。

校長先生によると、異年齢交流の自由進度学習は、同じ学年の中では遅れがちな子どもも下の学年の子に教える立場になることがあり、子どもの成長につながる貴重な経験になるそうです。

広げていくために

授業参観の日は土曜日だったので隣の学校の先生も来ていましたが、普段は自分の授業があるため、先生が他校を見学する機会は限られます。そのため、教育委員会では優れた授業を公開する教職員の研修や、中学校区内の相互授業参観などを進めているそうです。主体的な学びを実現しようとする先生方の挑戦を、ぜひ他の学校にも広げてほしいと思います。

放置される保育園

どこもかしこも老朽化

日本では高度経済成長期に大量の公共施設が建設され、一斉に更新時期を迎えています。しかし人口が減少していく中、全ての施設を維持、更新することはできません。全国で公共施設の最適配置が検討されていて、柏市でも3月に“柏市公共施設等総合管理計画 第2期計画”が策定されました。

柏市の公立保育園は22園ありますが、第2期計画では、最も築年数が経過している4園が再整備検討の第1グループとされています。このうち若葉保育園は現地建替えの方針で具体的な計画に進んでいますが、他3園は、仮設園舎建設用地の確保に課題があり、「地域の保育需要と供給状況に応じて、築60年を目安に休園することを含めて再整備の手法等を検討する。」とされました。つまり、判断を10年後に持ち越す計画です。



柏市公共施設等
総合管理計画
第2期計画

公立保育園再整備検討グループ（2024年度時点の築年数）

第1グループ	築45年以上 最も築年数が経過	・若葉保育園 (52) → 現地建替えの予定 ・あけぼの保育園 (51) ・豊住保育園 (49) ・桜台保育園 (48 2023年度改修) → 築60年を目安に休園することを含め再整備の手法等を検討する。
第2グループ	築45年以上	・土南部保育園 (48)・西原保育園 (46) ・豊町保育園 (45)・酒井根保育園 (44) ・富士見保育園 (45 2020年度改修) ・東中新宿保育園 (43) ・名戸ヶ谷保育園 (44) ・田中保育園 (44 2022年度改修) ・旭町保育園 (43)・東町保育園 (43)
第3グループ	築40年以上	・高野台保育園 (42)・しこだ保育園 (42) ・松葉保育園 (40)・高柳保育園 (39)
第4グループ	築40年未満	・高柳西保育園 (26)・富勢保育園 (24) ・増尾保育園 (13)・豊四季保育園 (3)

出典：柏市公共施設等総合管理計画第2期計画より作成

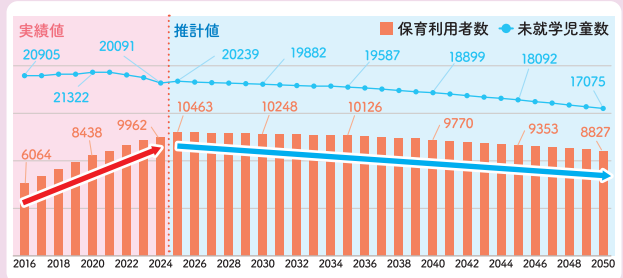
休園することを含めて？

保育園は今年度をピークに保育利用者数、未就学児童数が減少傾向へと変わる推計ですが、あくまでゆるやかな減少で、今後も一定の保育需要が見込まれます。そして10年経てば市内のほとんどの公立保育園が築50年を超え、ますます建替えの必要性が高まります。一番古い保育園の再整備計画が、判断を先送りするような内容で大丈夫でしょうか。

全国的に私立の保育園が増え、公立保育園は減少しています。柏市も、公立保育園再整備の判断を先送りにし、保育需要が減ってきたら建て替えずに閉園するつもりではないかと危惧しています。運営しながら建設するスペースがなくとも、計画的に休園すればその間に建設は可能です。

柏市保育需要の将来推計（人）

出典：柏市保育運営課提供資料



公立保育園の重要性

私立保育園全てに問題がある訳ではありませんが、近年は株式会社の保育園が増えました。株式会社は、利益を出して株主に分配することが目的の法人です。柏市が支払う保育運営費を他市の保育園建設費として流用する法人や人件費比率が低い法人、子どもの命を預かる保育士を常勤で確保できず、スキマバイトアプリで日雇いを充てる保育園が、柏市でも指摘されています。

一方で、公共施設は住民の福祉増進を目的としています。広い敷地と経験豊富な保育士がいる、安定した運営の公立保育園は地域の保育の核です。公立保育園は休園ありきで考えるのではなく、できる限り建て替え、維持する姿勢を持ってほしいと要望しました。

可燃ごみを減らさなきゃ

長寿命化工事

柏市には北部クリーンセンター(1991年～)、南部クリーンセンター(2005年～)にごみ焼却施設があります。また旧沼南町の可燃ごみは、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合の運営するクリーンセンターしらさぎ(2000年～)で焼却されています。

北部クリーンセンターは昨年度から3か年の大規模修繕工事中ですが、インフレスライド※による工事費の増額補正予算案が今回の議会に提出され、可決されました。工事費は増額して153億円にもなりますが、残念ながらこの工事が終わっても焼却炉は15年しか延命できません。

元々焼却施設は高額で、今、新設すれば1日の処理能力1トンにつき1億円以上かかるそうです。北部クリーンセンターは300トン/日なので、同規模の建て替え

に300億円以上かかります。

※インフレスライド…建設工事の請負契約において、工期内に急激な物価高騰または物価下落が生じ、請負代金額が著しく不当になった場合に、請負代金額の変更を請求できる制度。

焼却施設の維持

9月議会の常任委員会では、前年度の決算審査でごみ処理の課題を取り上げました。柏市の家庭系ごみは、コロナ禍のライフスタイルの変化で増えましたが、現在は減っています。可燃ごみも少しずつ減っていますが、このままでは15年後も20年後も大きく減らないでしょう。焼却施設の規模を維持しなければならない場合、今後も莫大な更新費が掛かります。



生ごみ処理容器等
購入費の補助金

生ごみを燃やさない

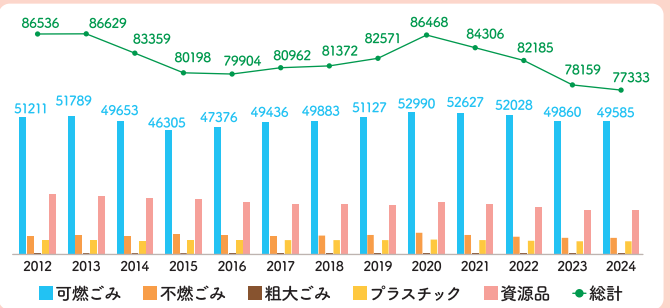
愛知県豊橋市では2017年から生ごみの分別回収を始め、可燃ごみを大きく減らしました。回収した生ごみはバ

イオマス利活用センターでメタン発酵処理をされ、生成されるメタンガスで発電をしています。発酵により発生する残渣も炭化燃料にしているため、回収された生ごみは100%エネルギー化され、発電収入も得ているそうです。

生ごみは水分量が多いため、燃やす処理は非効率です。柏市の生ごみ処理機の購入助成も利用が広がっていますが、年間200家庭程度であり、大きく可燃ごみを減らすことはできていません。今後はもっと抜本的な改革も検討してほしいと求めました。引き続き注視していきます。

柏市家庭系ごみ量の推移（トン）

出典：柏市清掃事業概要



ふるさと納税の裏側

住民税の流出

ふるさと納税は元々、生まれ育った故郷やゆかりのある地域を寄附によって応援するために作られた制度です。寄附額のうち2,000円を超える部分が所得税や住民税から控除され、自治体が用意する返礼品を受けとることができるため、そのお得感によって利用が広がっています。

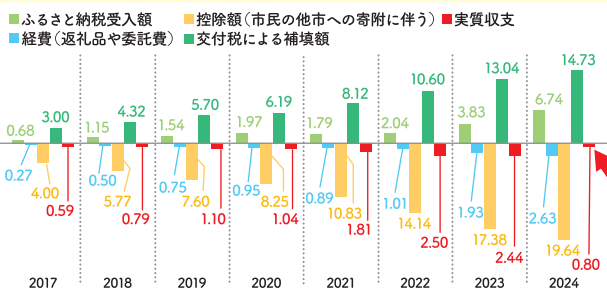
しかしふるさと納税によって、本来は市民のために使われるはずだった財源（住民税）が他の自治体に流出することにもつながり、人口の多い都市部の自治体ほどこの影響を受けています。

柏市への影響

2024年度は42,093人の柏市民がふるさと納税で他市に寄附し、住民税の控除額は19億6,389万円になりました。一方、柏市には7,427人から6億7,389万円が寄附され、1億3,539万円分の返礼品が送付されました。

ふるさと納税による減収額の75%は、地方交付税で

ふるさと納税制度による柏市への影響（億円） 出典：柏市財政課提供資料



地方交付税で補填されてもずっと赤字

国から補填される仕組みになっていますが、柏市は昨年度も7,967万円の赤字でした。また“国の補填”もそもそも私たちの税金です。

ずっと赤字

全国1,741自治体のうち、寄附受入額が上位10%の自治体が、全国寄附受入総額の60%を占めていて、恩恵を受けているのはごく一部の自治体です。柏市のような特産品が少なく人口の多い都市部の自治体は、構造的に赤字になりがちです。

寄附額を増やそうとすると、返礼品を含めた事業者への委託費も比例して増えます。柏市の2024年度の委託費は1億9,054万円でした。今年度の予算は2億4,000万円ですが、ポイント付与が禁止になる制度改革があり、駆け込み需要で増額する恐れがあります。寄附額に対する経費割合は例年40～50%を推移し、下がることはなさそうです。

制度の見直しを

個人からすればふるさと納税制度はお得で魅力的な制度に見えるかもしれませんが、自分の暮らす自治体の住民税が減少すれば、日々利用する住民サービスの低下につながります。俯瞰して見れば、ふるさと納税とは、利用者のちょっとしたお得感と一部自治体の受ける恩恵、事業者の儲けと引き換えに、税金を無駄遣いする仕組みです。

東京23区の特別区長会は、制度の廃止を含めた抜本的な見直しについて毎年総務省に要望書を出しています。柏市も問題意識を持って国に働き掛けてほしいと要望しました。

条例づくり

2023年6月、「柏市議会ハラスメント防止条例」が賛成多数で可決しました。当時、議員から怒鳴られた等の相談が複数あり、議長の諮問機関として、「ハラスメント防止のための条例制定に向けた検討会」が設置された経緯があります。

検討会では、議員と職員を対象としたアンケート調査を行いました。 「柏市議会議員からハラスメントを受けたことがある」に157名、「～見たことがある」に316名が回答する重い結果でした。



ハラスメント
アンケート
調査の結果

議会のハラスメント対策

見直しの時期

私は検討会メンバーでしたが、10回にわたる検討会では人事院公務員研修所客員教授の高嶋直人氏から学び、他市の視察も行って、良い条例ができたと思っています。

条例には「条例施行後3年を経過した時に試行状況について検討し、措置を講じる。」という附則を設けました。あれから2年半経ち、「ハラスメント防止条例施行状況協議・検討会」が設置されました。立候補して委員になりましたので、しっかり取り組んでいきます。



柏市議会
ハラスメント防止
条例



LINE相談・おはなし会

柏市へのご要望、暮らしの困りごとなど、公式LINEにてお気軽にご相談ください。議会報告会やおはなし会も開催いたします。ご希望の方はお問い合わせください。

